

S Y Dかわらばん

＜最新活動情報 No.166＞ 2022 年 9 月 20 日号

かわらばん特別企画「修養団と私」

1月号よりスタートいたしました「修養団と私」。毎月、修養団運動推進の原動力として、各地で活躍されている方々に特別寄稿いただいております。

修養団と私

OYG(沖縄ヤングゼネレーション) 宮城 守



私は、現在、沖縄県の公立中学校で30数年教師として働かせていただいている、生粋のウチナーンチュ(沖縄の人)です。管理職になった今でも、部活動の顧問を担当するなど、日々生徒たちや職員と楽しい学校生活を送っております。

私が修養団と関わるきっかけとなったのは、今から約40年前、私が高校3年生の時です。中学からの同級生で、今も沖縄で共に修養団活動をしている安仁屋聡から、『夏に、修養団という団体が主催している青少年キャンプがあるのだけれども、それにリーダーとして参加してみない?』と誘われました。彼は続けて、『100名くらいの小中学生と一緒に3泊4日のテント生活をして、キャンプファイヤーとかもあるし、何より渡嘉敷島のきれいな海で泳げるのって最高だよ。』と。私の答えはYESでした。今となっては少し笑えるのですが、彼は『修養団と言ってもあやしい宗教団体ではないから』とも念を押していました。そのとき、修養団とのつながりがこんなにも長く続くとは夢にも思いませんでした。その大きな要因の一つになったのが、当時、修養団本部から沖縄キャンプの担当主事として参加しておられた根岸秋吉さん(修養団講師)との出会いです。高校生のウチナーンチュにとって東京から来たナイチャー(内地の人)へは、どのように対応したら失礼がないのかなど緊張していました。しかし、根岸さんは、気さくで懐の深い方でした。しばらくすると、名字ではなく名前で呼んでくれて、親近感がわくとともにこちらからもアプローチし易くなりました。人間関係づくりのポイントの一端を学びました。その後も、多年にわたり沖縄担当であった根岸さんの働きかけもあり、我々沖縄のスタッフは、人数も活動量も



【初めて参加した沖縄キャンプ! 左端が本人】

増え当時の大学生世代を中心に修養団沖縄ヤングゼネレーション支部を立ち上げることが出来ました。まさに、修養団の幸せの種が形となって沖縄に蒔かれた瞬間だったのではないのでしょうか。その後は、沖縄における修養団活動を通して、一人でも多くの子どもたちが、より楽しく、充実し、友だちを増やし、成長出来るためのサポートを念頭に、青少年キャンプやその他活動をOYG支部が母体となって現在も実施しています。その実践において、幸せの種まき運動やキャンプ主事として、数えきれないほど来沖し、我々や沖縄の子どもだちに多くの示唆を与え、支援していただいた元修養団職員の青木さんはじめ、職員の方々にも感謝の想いは絶えません。

私の財産は、私が関わった全国の修養団関係者や本部スタッフの方々との多くの出会い、そして、数々の活動や体験です。そこで得た幸せの種を、関わる子どもを中心とした沖縄の方々へ蒔いています。この先どんなに時代になろうとも、「総幸福」を目指す上で、「愛と汗」の精神は普遍であると信じております。

宮城 守さんへ《質問コーナー》

- ① 好きな言葉 → 「なんくるないさ(どうにかなるさ)」
- ② 私のおすすめの本 → 「3秒でハッピーになる名言セラピー」
- ③ 好きな食べ物 → 「カレーライス」
- ④ 趣味 → 「ことばづくり」※毎週欠かさず、気づきや励みや時事等、地域の方が読んで元気になるようなことば(文章)をつくり発信している。現在13年目、700作以上継続中。
- ⑤ 最近ハマっていること、または始めようとしていること → 「いろいろなカクテルを飲む」
- ⑥ 夢 → 「豪華客船で妻と世界一周旅行」
- ⑦ 会員の皆様へ一言メッセージ → 普通が一番! コロナ後の新しい社会でも普通に健康で活動したいですね。

➡ご感想やメッセージなどありましたら、ぜひSYD社会教育部までご連絡下さい。

子ども自然体験キャンプ

★SYD主催(文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動) () 内は障害児数

名称(期日)	開催地《派遣者》	参加数 キャンパー+リーダー+スタッフ
道 南〈7/29～31〉	姫川ふれあいセンター・北海道乙部町 《志村和也、中野淳一》	31(2) + 18 計 49 名
桧原湖畔〈8/ 4～ 7〉	ぱんだいふれあいぴあ・福島県北塩原村 《谷野渉、鈴木綾》	新型コロナウイルスの影響により中止
瀬戸内海〈8/18～21〉	小豆島ふるさと村キャンプ場・香川県小豆島町 《板倉和也、増田航介》	
鹿 児 島〈8/12～14〉	八重山公園キャンプ場・鹿児島県鹿児島市 《志村和也、真下淳一》	
沖 縄〈9/23～25〉	今帰仁総合運動公園・沖縄県今帰仁村 《板倉和也、保坂正志》	



★SYD伊勢青少年研修センター主催(文部科学省後援)

名称(期日)	開催地《派遣者》	参加数 キャンパー+リーダー+スタッフ
富 士 山〈8/16～18〉	ふもとっぱらキャンプ場・静岡県富士宮市《武田数宏、山崎政弘、中山貴生》	新型コロナウイルスの影響により中止
愛 知〈8/ 2～ 5〉	表浜ほうべの森・愛知県田原市 《中山貴生》	92 + 41 計 133 名
関 西〈8/ 7～10〉	伊勢青少年研修センター・三重県伊勢市 《武田数宏、寺岡賢、山崎政弘、中山貴生、斎田聖生、竹本英美、亀田希奈里》	37 + 26 計 63 名



★連合会等組織共催

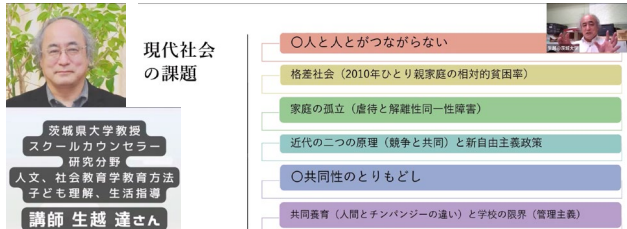
名称(期日)	開催地《派遣者》	参加数 キャンパー+リーダー+スタッフ
いばらき〈8/ 2～ 5〉	県立中央青年の家・茨城県土浦市 《根岸秋吉、増田航介》	56 + 15 計 71 名
友 愛〈8/13～16〉	四季の森キャンプ場・滋賀県東近江市 《保坂正志》	新型コロナウイルスの影響により延期〈9/17-19〉
北部九州	市立玄海青年の家キャンプ場・福岡県北九州市 〈8/11～12〉 〈8/13～14〉	《板倉和也》 新型コロナウイルスの影響により延期〈11 月〉



主催事業・活動等

報 告

7/22…第2回「青年ボランティアゼミナール」“子どもたちが抱える問題と私たち(地域)の役割”20人〔東京都・SYD会議室〕 《生越達》



現代社会の課題

- 〇人と人がつながらない
- 格差社会 (2010年ひとり親家庭の相対的貧困率)
- 家庭の孤立 (虐待と解離性同一性障害)
- 近代の二つの原理 (競争と共同) と新自由主義政策
- 〇共同性のとりもどし
- 共同養育 (人間とチンパンジーの違い) と学校の原形 (管理主義)

茨城県大学教員
スクールカウンセラー
研究分野
人文、社会教育、教育方法
子ども理解、生活指導
講師 生越 達さん

スクールカウンセラーとして、個性ある様々な子どもたちと関わっている経験と、大学教授という立場から、とても分かりやすく現代の問題と役割について話していただいた。家庭・学校を超え、地域社会全体で、子どもを育てる「共同養育」についてや、子どもとの接し方について、学ぶ大変有意義な時間となった。

7/23～24…「WAKU × 2ボランティアリーダー研修会」(友愛)15人〔滋賀県東近江市・四季の森〕 《保坂正志》



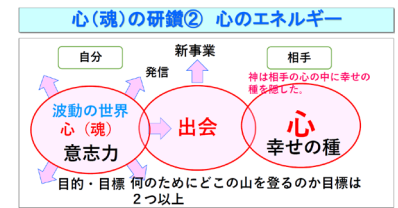
朝に全員で抗原検査をし、四季の森へ出発。到着後は手分けをしながら丁寧に研修会場の清掃活動をおこなった後、参加者からの近況報告に続いて保坂正志講師が修養団の成り立ちと現況を含め挨拶した。その後、夕食で懇親を深めた。翌日は「幸せの種まき講演会」にリモート参加し、全員で三瓶利正講師のお話を拝聴した。

7/24…第2回「Zoomでオンライン“愛と汗”幸せの種まき講演会」“修養団と私～二つの苦難の克服～”43人〔東京都渋谷区・SYD会議室〕 《三瓶利正》



本団評議員で修養団福島県連合会事務局長を務める三瓶利正さんが講演。自身の困難を乗り越えた体験を通し、生きる上で本当に大事なこと

や“新規事業で多くの人たちを救いたい、子々孫々へ贈り物にしたいという思い”“103歳の誕生会に皆を招待する”などお話いただいた。新たな参加者も多く、ご縁が広がり、なにより“愛と汗”の実践意欲の高まる会となった。



7/26～30…「全国青年アカデミーキャンプ」17

人〔福島県北塩原村・ぼんだいふれあいびあ〕
《毛利大介、多賀元紀、高橋源一郎、岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野渉、増田航介》

新規事業として開催、全国から青年たちが参加し、日中は野外活動。夜間は、「愛と実践のSDGs～これからの幸せってなんだろう～」をテーマに話し合いをした。磐梯山登山では修養団山都愛汗の会の高橋源一郎副会長(福島県山岳避難救助隊員)の案内で全員無事に登頂、参加者からは「大変だったけど登ってよかった」と感想があった。SDGsやお互いの地域について語る中で絆が深まり、最後の夜のキャンプファイヤーでは、ほとんどの参加者が感動の涙を流した。今後のリーダー養成のために重要な事業となったと確信した。



7/29～31…第31回「岸和田少年少女サマースクール」71人(公益社団法人岸和田青年会議所との共催事業)〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕《武田数宏、寺岡賢、山崎政弘、中山貴生、斎田聖生、竹本英美、亀田希奈里》

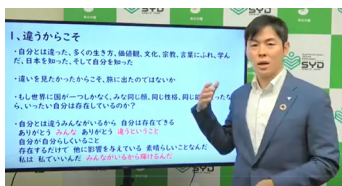
新型コロナウイルス感染症対策をしっかりとおこない開催。親元を離れての3日間、期待や楽しみだけでなく、緊張や不安もたくさんあるなかでも、閉会式後には、子どもたちは、何か自分の中に新しい自分を発見したような達成感と自信に満ちた、どびきりの笑顔を見せてくれた。



新型コロナウイルス感染症対策をしっかりとおこない開催。親元を離れての3日間、期待や楽しみだけでなく、緊張や不安もたくさんあるなかでも、閉会式後には、子どもたちは、何か自分の中に新しい自分を発見したような達成感と自信に満ちた、どびきりの笑顔を見せてくれた。



9/4…第3回「Zoomでオンライン“愛と汗”幸せの種まき講演会”“みんながいるから輝ける～響き合う世界へ～” 30人〔東京都渋谷区・SYD会議室〕〔志村和也〕



本年度第3回(通算6回)として、志村和也講師が講演。SYDの活動と世界一周の体験から、人々とのふれあいの中で学んだ“違い”の素晴らしさ、違いを認め合い助け合い、互いに“天分”を活かし合うことが幸せへの道、などを話した。また後半は幸福感と白色倫理運動にふれ、お互いに学び合った。

のふれあいの中で学んだ“違い”の素晴らしさ、違いを認め合い助け合い、互いに“天分”を活かし合うことが幸せへの道、などを話した。また後半は幸福感と白色倫理運動にふれ、お互いに学び合った。

【幸せの種まきキャンペーン《出前講座》】

《山口千恵子、谷野渉、増田航介》

報 告

9/12 SYDホールで 11/25～27 に上演される舞台「たたずむ その場所で～パヤタスに降る星より」の出演者に向け実施。 30人

予 定

9/29 埼玉県久喜市立久喜東小学校
10/3 北海道音更高等学校ボランティア部
10/25 静岡県私立浜松聖星高等学校
10/27 福島県喜多方市立山都小学校

予 定

9/24…「WAKU×ボランティアリーダー研修会」(広島)〔広島市・広島県健康福祉センター〕
《根岸秋吉》

9/30…第4回「青年ボランティアゼミナール」
“すべての人が、生まれてきてよかったと思える世界を” Japan Heart《近藤ゆふき》

10/28…第4回「Zoomでオンライン“愛と汗”幸せの種まき講演会”“人は皆先生！～たくさんの出会いが教えてくれたこと～”
〔東京都渋谷区・SYD会議室〕 《増田航介》

会員組織の主な動き

報 告

7/31…修養団山都愛汗の会「愛汗苑除草作業」〔福島県喜多方市・愛汗苑〕



毎年おこなわれている夏の蓮沼門三初代主幹生誕地“愛汗苑”の除草作業を実施した。

《発信・小澤清一》

9/4…修養団伊勢いなほの会「研心遠足」21人〔岐阜県中津川市・血洗神社、恵那神社、苗木城跡〕

新型コロナウイルス感染拡大と台風の影響の心配もあったが何とか3年越しに開催。現地会員の綿密な計画の元、たくさんの学びと感動と共に、有意義な時間を過ごすことができ、また初参加の会員とも親睦を深め、人と人がつながっていくのが嬉しく思えました。

《発信・斎田信子》



情報あれこれ

11月12日「幸せの種まき祭り」 バザー品提供のお願い

〈提供品例〉

- ・日用品(タオル、シーツ、石鹸等)※未使用品
- ・衣料品(古着はご遠慮ください)
- ・雑貨(バッグ、アクセサリ等)
- ・電化製品・玩具・食器・野菜
- ・特産品(もち米、お米、海産物、菓子等)

ご提供いただける場合は、お電話、ファクシミリ、Eメール等でご一報ください。

問合せ・連絡先

SYD社会教育部「幸せの種まき祭り」係
TEL 03-3405-5441 FAX 03-3405-5424
E-mail: info@syd.or.jp

〈発行・連絡先〉

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2
☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424
E-mail: info@syd.or.jp
ホームページ: <https://syd.or.jp/>

SYD

検索